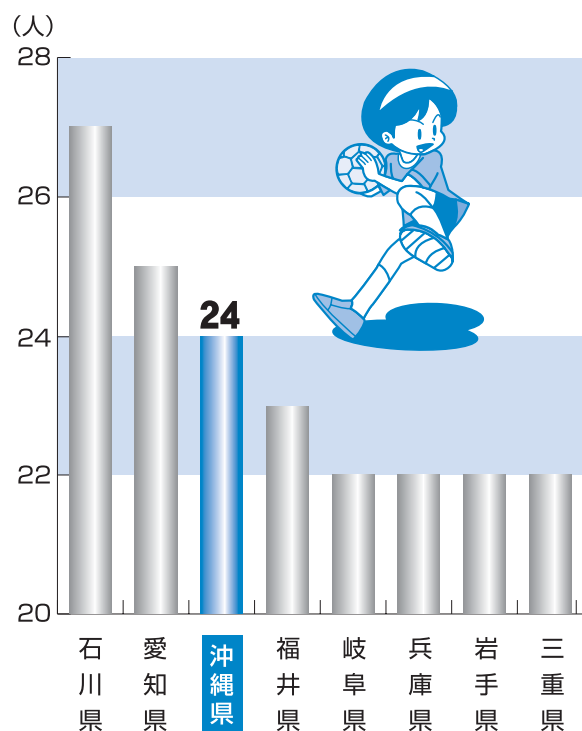


【女子ハンドボール部員数(中学校)】

(2010年度)



24人/校

男女を問わず沖縄で盛んなハンドボール。小・中・高・一般で50回以上の全国優勝を誇り、高校選抜大会ではアベック優勝したこともあるほど、全国的にも強豪として知名度は高い。

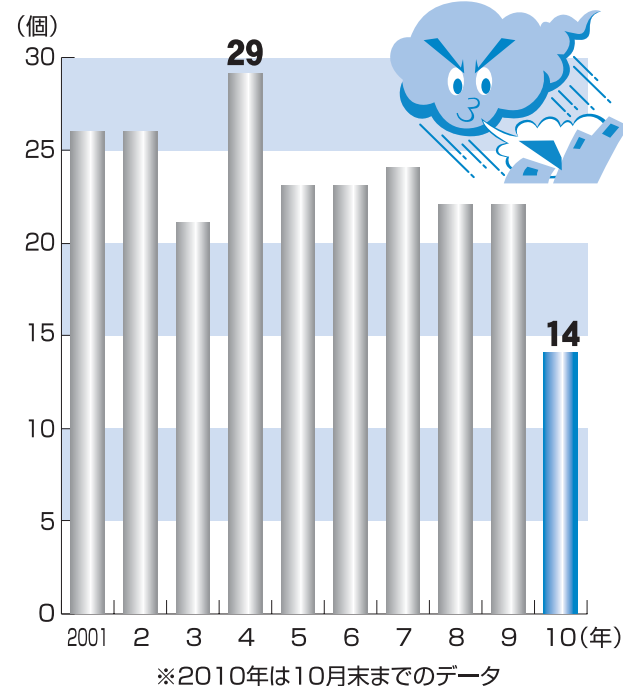
財団法人日本中学校体育連盟「部活動調査集計」によると、県内の中学校の女子ハンドボール部は、33校、部員数777名。1校あたりに換算すると約24人と全国3位の水準だ。ちなみに高等学校では、21人(全国3位)となっている。

どのスポーツにもいえるかもしれないが、特に部活動を支える保護者の情熱が高いことも沖縄の特徴であり、強さの一因でもあるようだ。

国内最高レベルの日本リーグには、もちろん女子リーグもある。いずれ男子チームだけでなく、沖縄をホームとする女子チームが日本リーグで活躍する日が来るかもしれない。

(海邦総研経営企画部/新里治史)

【台風の発生数】



※2010年は10月末までのデータ

14個

今年是全国的にゲリラ豪雨などの集中豪雨が多発した一方で、台風が発生した数は少なく感じるのでは？

気象庁「台風の統計資料」によると、2010年10月末現在の日本における台風の発生数は14個。年間を通じて最少だったのは1998年の16個。

観測以来11月と12月の合計平均が1.8個なので、仮にこの個数を加算したとしても、観測史上過去最少となる可能性が高い。

ちなみに最多発生数は1989年の32個。また2000年から2009年までの10年間は毎年20個以上、平均23.9個が発生している今年はかなり少ないペースとなっている。

台風が少ないと被害も小さいだろうが、異常気象の影響だと考えると少し複雑な気分だ。台風の当り年に多く咲くというデイゴの花は、来年は咲くのだろうか…。

(海邦総研経営企画部/中山禎)

【給油所の減少数】

(単位:力所)

都道府県	2000年	2009年	減少数
1位 東京都	2,297	1,502	795
2位 愛知県	2,639	1,901	738
3位 大阪府	1,923	1,327	596
4位 北海道	2,656	2,115	541
44位 奈良県	485	366	119
45位 福井県	467	361	106
46位 鳥取県	380	285	95
47位 沖縄県	441	372	69
全国平均	1,143	859	284

69か所

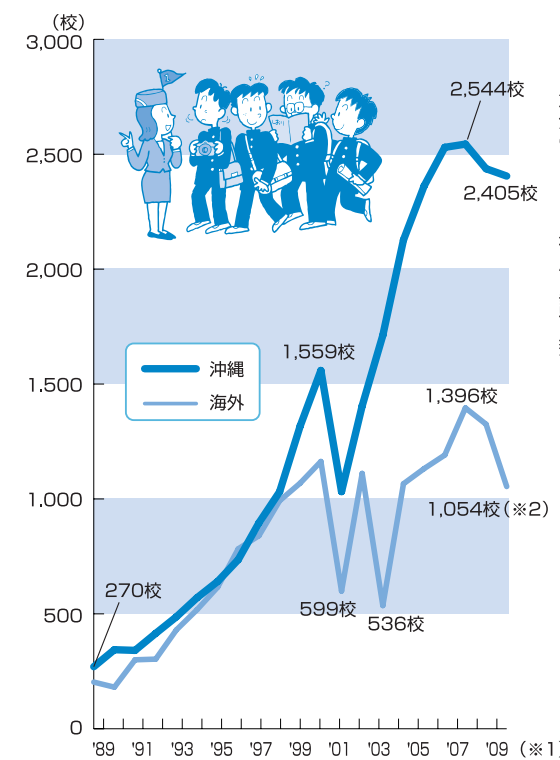
最近では、コンビニを併設した給油所やセルフ式の給油所など、以前までの給油所とは異なる形態の給油所も増えてきた。厳しい給油所業界にあって、給油所経営も生き残りをかけた戦いが続いているようだ。

資源エネルギー庁調べ2010年度「都道府県(所在地)別給油所数の推移」によると、2000年から2009年の間で給油所の減少数が最も多いのは東京都で795か所、続いて愛知県の738か所。沖縄は全都道府県の中では最も少ない69か所の減少にとどまっている。1給油所あたりの登録自動車数(軽自動車を含む)は1,874台で、大都市と同程度に、車の数の割に給油所数が少ないのだ。

低燃費自動車やハイブリッド車などの普及はガソリン需要の減少につながる。価格競争も厳しさを増しており、価格に頼らない新たなサービスの確立を期待したい。

(海邦総研経営企画部/上江洲龍)

【修学旅行(受入校数)】



※1 沖縄は暦年データ、海外は年度データ
※2 海外の2009年度は計画数

2,405校

平和学習、伝統文化や自然体験、世界遺産、民泊…。修学旅行先としての沖縄の魅力は、なんとと言っても資源の多様性にあるだろう。

沖縄県観光商工部の修学旅行入込状況調査によると、2009年に修学旅行で沖縄を訪れた学校(小学校、中学校、高等学校の合計)は2,405校。過去20年間の年間来校数の推移を見ると、約9倍に増加している。

一方、財団法人日本修学旅行協会の教育旅行年報によると、海外への修学旅行は、1990年代、国際理解教育に力を入れる私立学校などを中心に人気が高まった。しかし、2000年以降その伸びに歯止めがかかり、沖縄の校数との差は2倍に広がっている。

次代を担う子供達が、沖縄の魅力にふれ、素敵な思い出を作ることは、将来の沖縄観光にとっても意味のあることだ。また来たいと思ってもらえる「沖縄」は一体どんな「沖縄」だろう。一県民として考えてみたい。

(海邦総研経営企画部/大井佐和子)